



(特活)ミタイ・ミタクニヤ子ども基金ニュースレター 2016年1月・7月号(合併号)



目次

1. ご挨拶
2. 2015年度活動報告
 - 2-1. ミタイ・ミタクニヤ子ども基金の2015年度の活動サマリー
 - 2-2. 海外での活動
 - A) 海外実践研修事業
 - B) 2015年度現地インターン活動報告
 - C) 藤掛洋子代表理事国会表彰、勲章授与
 - D) 藤掛代表理事名誉博士号(教育学)授与
 - 2-3. 国内での活動
 - A) グローバルフェスタ JAPAN2015 への出展
 - B) パラグアイフェスティバル 2015 への出展
 - C) パラグアイからの留学生受け入れ
3. 2016年度活動報告
 - 3-1. 新規ミタイ基金現地メンバーの紹介
 - 3-2. 2016度パラグアイ実践研修に向けて
 - 3-3. クラウドファンディングのお知らせ
4. メディア掲載情報
5. 理事会の開催

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤ子ども基金(通称:ミタイ基金)
〒162-8433 東京都新宿区市ヶ谷本村町 10-5 JICA 地球ひろば メールボックス 12
[TEL:090-7186-1065](tel:090-7186-1065) (国際協力サロン受付) 発行者:藤掛洋子
E-mail: mitai.jk@gmail.com URL: <http://mitai-mitakunai.com/>





1. ご挨拶

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニャイ子ども基金を応援して下さる皆様方へ

暑中お見舞い申し上げます。常日頃より本基金を応援して下さり誠にありがとうございます。日本では蝉の音が聴こえるようになってきました。パラグアイは今まさに真冬、パラグアイのみなさまはセーターを着たりして過ごしています。

本日はニュースレター2016年1月・7月（合併号）を皆様のお手元にお届けできますことに心より感謝申し上げます。

パラグアイ（人口 680 万人）は近年投資が進み、途上国から新興国への仲間入りもそう遠くない将来に迫っていると思います。2016年の国連開発計画（UNDP）の人間開発レポートでは、パラグアイの人口の38.1%である約250万人が中間層に位置づけられ、1日10ドル～50ドルの収入を得ていると報告されました。

一方、都市と農村の格差の問題やジェンダーの問題などは根強く残っており、社会医療保険に加入している方々はわずか19%に留まっています。人口の49%が農村部に居住し、エル・ニーニョなどの影響で農作物が不作となり、収入が絶たれることもあり大変困難な状況におかれている方も多数います。首都や地方都市でも定期的な収入のない方も同様です。

本基金では、昨年・そして今年もパラグアイ共和国カアグアス県コロネル・オビエド市域農村部の3つの小学校の子どもたち・保護者の方々に継続した支援をさせて頂きました。また、2012年より開始したバニヤード・デル・スルというゴミ集積地における調査や子どもたちへの教育支援などもさせて頂きました。この地区は右の写真にあるように、エル・ニーニョによる豪雨で一時期水面下に先住民族の子どもたちの学校や住居が水没してしまいました。この地域での教育支援も継続しています。



本基金では今年度初めてクラウド・ファンディングにも挑戦しております。

今回のニュースレターで詳細をご報告させていただきますことに感謝申し上げます。是非とも継続したご支援を賜りたく謹んでお願い申し上げます。

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニャイ子ども基金代表理事 藤掛洋子

2. 2015 年度活動報告

2-1. ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金の 2015 年度の活動サマリー

2015 年度（2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日まで）は、1）パラグアイ共和国（以下、パラグアイ）にて 4 校目の小学校で教育支援ならびに校舎の増設、2）NPO 法人道普請と連携した道普請、3）先住民の子どもたちへの生活改善支援、4）カアグアス県農村部における女性や子どもを対象にした栄養指導・生活改善指導、5）都市スラム：カテウラでの調査を実施しました。また本基金の現地パラグアイにおける NGO 登録が 2016 年 4 月に承認され、最終手続に入っております。



2-2. 海外での活動

A) 海外実践研究事業

横浜国立大学教育人間科学部ならびに横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院の学生さん、B)に示すように現地インターンを受け入れ、国際協力の実践を積んでいただきました。

B) 2015 年度現地インターン活動報告

慶應義塾大学文学部西洋史専攻 3 年生（当時）の土肥野秀尚（どひのひでなお）さんと横浜国立大学教育人間科学部人間文化課程の久喜淳史さん 2 年生（当時）を現地インターンとして受け入れ、スペイン語の翻訳や道普請、フェアトレード実践、村の学校での教育支援などに関わって頂きました。

以下、久喜淳史による現地インターン活動報告です。

こんにちは。横浜国立大学教育人間科学部人間文化課程社会文化コース 3 年、久喜淳史（ひさきあつし）と申します。私は 2015 年 11 月より 5 ヶ月間ミタイ基金の現地インターン生として活動させていただきました。活動内容は、ミタイ基金が支援している農村地区の巡回、栄養講座・運動講座の実施、NPO 道普請との道路直し、パラグアイ共和国の伝統工芸品であるニャンドゥティのフェアトレード準備、ミタイ基金と交流協定を結んでいる Nihon Gakko 大学での学習支援などをやらせていただきました。

私はスペイン語をあまり話せない状態でインターンをスタートさせていただいたので、はじめの1ヶ月は言語面で多くの困難がありとても苦しかったのですが、多くの方の支えにより無事インターンを修了することができました。インターンでは、他国で働く難しさややりがい、そして国際協力の難しさを感じました。



運動講座の様子



栄養講座の様子

例えば、栄養講座ではバランスを考えてつくった料理が現地の人の口に合わず、結局巡回した時にはいつもと同じような栄養状態が偏った食事をしていなどのことがありました。他にも、集合時間に住人が半数以下しか集まらず1日で終わるはずのプロジェクトが3日間かかるといったこともありました。農村地区では虫に刺され、現地病院で急遽手術をするといった経験もありました。さまざまな経験をさせていただいたこのインターンを通じてあらためて国際協力の世界で働きたいと思うようになりました。



修了式の様子

たくさんのご迷惑をかけながらも常にサポートしていただいた方々にこの場をお借りして感謝を述べさせていただきたいと思います。まことにありがとうございます。そして、このような機会をいただきましてまことにありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。

横浜国立大学教育人間科学部人間文化課程社会文化コース3年 久喜淳史

C) 藤掛洋子代表理事国会表彰、感謝状の授与



上田善久駐パラグアイ特命全権大使と共に

2015年10月28日、代表理事藤掛洋子が、パラグアイ共和国国会下院より、駐パラグアイ日本大使館上田善久特命全権大使ならびに国会下院副議長臨席のもと、パラグアイにおける22年間の研究と実践活動に対する表彰を受けました。また、国会下院パラグアイ・日本友好委員会より金メダルを受勲、同国会にて、スペイン語による40分間の講演を行いました。



メダルを授与される藤掛代表



式典に参加したメンバーと共に



国会表彰



国会でソーラン節を披露した横浜国立大学学生と
ミタイ基金インターン生たち

D) 藤掛代表理事名誉博士号（教育学）授与

2015年10月30日、パラグアイ共和国アスンシオン市のボルダス文化センターにおいて藤掛洋子代表理事（博士：学術）が、NihonGakko 大学より名誉博士号（教育学）を授与されました。

厳かな式典が執り行われ、NihonGakko 大学関係者、アスンシオン国立大学関係者、JICA 関係者、日系関係者、そして多くのパラグアイの皆様方に祝福され、藤掛洋子代表理事は 22 年間のパラグアイにおける実践・研究活動について 40 分間の講演を行いました。



名誉博士号（教育学）を授与される藤掛代表



アスンシオン国立大学の研究仲間がお祝いに駆けつけてくれました。

2-3. 国内での活動

A) グローバルフェスタ JAPAN2015 への出展



ミタイ基金ブース前で

ティとそれを使った商品を中心に販売しました。

2015年10月3日（土）、4日（日）にお台場センタープロムナードで開催された日本一の規模を誇る国際協カイベントである「グローバルフェスタ JAPAN2015」に出展しました。ミタイ基金は 2014 年に引き続き、2 回目の出展となりました。パラグアイの民芸品であるチャンドゥ

B) パラグアイフェスティバル 2015 への出展

2015年10月11日(日)に光が丘公園けやき広場で開催されたパラグアイフェスティバル2015に出展しました。

今回のイベントでは、ミタイ基金学生部のメンバーである徳永健人、田才諒哉が事務局側の運営に関わらせていただきました。



パラグアイから直接輸入したフェアトレード商品はとても人気がありました。

C) パラグアイからの留学生受け入れ

パラグアイ共和国のSara Marmolさんが横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院に短期留学をされました。週末はミタイ基金関係者がホームステイ等で受け入れ日本とパラグアイの交流を深めることができました。



3. 2016 年度活動報告

3-1. 新規ミタイ基金現地メンバーの紹介

藤谷碧(ふじたにみどり) 米国ガウチャー大学 4年
2016年6月1日から7月24日までミタイ基金インターンとして都市スラムカテウラ地区の先住民の子どもたちを対象に英語講師として活動しました。





立川巧雪（たちかわこうせつ）2016年2月～

ミタイ基金パラグアイサポーター。長岡造形大学卒。2級建築士。
ミタイ基金が支援している地域の一つであるメルセデス地区にて、
学校増設のアレンジメントを行います。また、学校増設において建築士として校舎の建築材の選定や立地条件の調査などを行います。

篠原七恵（しのはらななえ）2015年12月～

ミタイ基金パラグアイサポーター。青年海外協力隊
平成27年度1次隊 看護師。
ミタイ基金が支援している地域の一つであるメルセデス地区にて栄養改善講座の実施等サポートします。

3-2. 2016度パラグアイ実践研修に向けて

今年度の海外実践研修は8月25日から9月29日を予定しています。パラグアイ各地を訪問し、ニャンドゥティの作り手の方へのインタビュー、販売環境の調査、農村におけるフィールドワーク、日系移住地における交流会、昨年増設した小学校のフォローアップ調査等の活動をする予定です。

<2016年度渡航メンバー代表近藤眞央よりご挨拶>

はじめまして。藤掛先生の研究室に所属する横浜国立大学教育人間科学部2年の近藤眞央と申します。

横浜国立大学の学部生・大学院生のパラグアイ渡航は、今年度で4年目の試みとなります。今回のパラグアイ渡航では、昨年までと同じように、農村部の訪問、伝統工芸品ニャンドゥティの調査などに加え、ゴミ山が存在するカテウラ地域の調査も前年度より本格的に行おうと思っております。

本年度の渡航で私は2年生の代表を務めさせていただいております。私は、このパラグアイ渡航とミタイ基金の活動を高校生の時に知り、ぜひ参加したいと思ってから2年、パラグアイへの出発が刻一刻と迫っていることを感慨深く感じております。

私たち学生が国際協力活動に関わっている理由は、現状を知り、学べば、自分たちにでも何かできることがあるのではないかと思ったからです。もちろん、専門的に国際協力を職業とされてる方などと比べれば、できることは本当に少ないと思います。学生には十分な知識や技術がないこともご承知の通りです。



しかし、そういった素人であるからこそ見える課題、現地の人々のためにできることもたくさんあるのではないかと考えます。知識や技術が乏しい学生だからこそ出来ることをやっていく所存です。

それがクラウドファンディングや自分たちがパラグアイに行く理由なのではないかと考えています。今年はこの写真（右側）の13人の学部生+αでパラグアイ渡航します。ご指導どうか宜しくお願いいたします。



2016年度パラグアイ渡航メンバー

3-3. クラウドファンディングのお知らせ

【パラグアイの子どもたちに教育を！ 横浜の学生を中心とした学校建設！】

2016年6月20日より、特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤ子ども基金は、パラグアイの学校建設のため、READYFOR というサイトでクラウドファンディングを実施しております。

URL：<https://readyfor.jp/projects/mitaimitakunai>

※クラウドファンディングとは、活動内容の記事をネット上に掲載し、それを読んで共感してくれた方から支援を集めて資金調達を行うしくみです。

（ご興味のある方は、下のREADYFORのサイトから詳細についてご覧ください）

URL：https://readyfor.jp/about_more

【本プロジェクトは、建設が滞っているメルセデス小学校の屋根と内装のための不足資金を集め、教室を完成させようというものです】

本基金ではこれまで、メルセデス小学校の一つ目の教室(注)と二つ目の教室の建設支援を行ってきました。しかし、2015年10月より新たに開始した二つ目の教室の建設中、建設資材の高騰や為替の変動、エルニーニョ現象による酷暑のため、本基金が準備していた資金と地区の住民が集めた資金が不足してしまい、屋根と内装を残して建設がストップしてしまいました。

パラグアイでは夏の時期は40度を越える暑さから屋根がない教室ではとても勉強できる環境にありません。しかし、子どもたちの学習意欲はとても高く、生徒数も増加しているため、早急に二つ目の教室を完成させる必要があります。そのため、不足している建設資金をクラウドファンディングを通して集めたいと思い、学生部を中心に今回のプロジェクトを立ち上げました。



学校の子どもたちの様子

クラウドファンディングは多くの
方々にページを見ていただいて、支援し
ていただくことができなければ、達成す
ることができません。

＊ルール上、期間内に目標以上の支援金
が集まらなければ、すべての支援金が返
金となり、プロジェクトが不成立となる
仕組みです。

今回のプロジェクトを達成するためには、6月20日から8月24日ま
での65日間で90万円の支援金を集める必要があります。

最後になりますが、日頃よりミタイ基金を支えてくださっている皆様のご
支援に、心より感謝申し上げますとともに、本プロジェクトへのお力添えをい
ただければ幸いです。

ご支援、ご協力、どうぞよろしくお願い致します。

(注) ミタイ基金のサポーターであるW様には学校建設に対し多大なるご支
援を頂きましたことに改めて感謝申し上げます。

4. メディア掲載情報

昨年度から今年度にかけても国内外の多くのメディアに取り上げていただき
ました。

【2015年度】

・2015年10月28日 パラグアイ新聞 ULTIMAHORA (電子版)
<http://www.ultimahora.com/itauguenos-tejen-vestidos-nanduti-investigadora-japonesa-n942351.html>

・2015年10月28日 パラグアイ国会ホームページ
http://www.diputados.gov.py/ww1/noticia/14152.camara_baja_condecoro_a_la_doctora_yoko_fujikake.html

・2015年11月6日 パラグアイ現地新聞 ONCE15
<http://www.once15.com/2015/11/06/reconocen-a-investigadora-japonesa-por-labor-en-paraguay/>

・2015年11月9日 パラグアイ現地新聞 オビエド・プレス



<http://www.oviedopress.com/new/index.php/locales/item/138-la-fundacion-japonesa-mitai-mitakunai-construye-aula-para-la-escuela-las-mercedes>

・2015年11月9日 パラグアイ現地新聞 ABC新聞 (ABC color)
<http://www.nacimiento.com.py/fuente/mas-de-20-anos-cooperando-con-el-pais-1424751.html>

・2015年11月15日 パラグアイ現地新聞 ULTIMAHORA
<http://www.ultimahora.com/distinguen-japonesa-crear-escuelas-n946018.html>

・2015年11月15日 日系ジャーナル (パラグアイ国内唯一の日本語新聞社)

【2016年度】

・2016年1月6日 朝日新聞「ひと欄」藤掛洋子さん 南米パラグアイに学校を造り続ける大学教授
(ひと) 藤掛洋子さん 南米パラグアイに学校を造り続ける大学教授

・2016年2月23日 ラジオ大阪「青木和雄の昼までええやん！」出演
〈ええやんピープル〉のコーナーにパラグアイでの支援や活動についてインタビュー出演

・2016年7月21日 神奈川新聞「パラグアイに学校を」学生部の活動が掲載されました。

5. 理事会等の開催

2016年1月20日 東京都中目黒においてミタイ基金理事会を開催いたしました。ここでは2015年度の四分の一・二・三期の活動報告を行いました。

2016年2月7日 京都においてミタイ基金理事会を開催いたしました。ここでは四分の四半期計画と報告を行いました。

2016年6月30日 横浜市にミタイ基金活動報告ならびに収支決算書類を提出し、受理されました。

2016年8月5日(予定) ミタイ基金理事会・総会を行います。また、海外インターン帰国報告会を行います。



ご支援のお願い

ミタイ基金では私たちの活動に共感し、一緒に子どもたちや女性たちを支援して下さる会員・賛助会員の方を募集しております。また、ご寄付も受け付けております。

正会員：個人 5,000円 正会員：団体 50,000円
賛助会員（電子メール会員）：個人1口 3,000円（1口以上）
団体賛助会員（電子メール会員）：1口 10,000円（1口以上）

会費等をお納め下さった方には郵便または電子メールにて活動報告をさせていただきます。尚、頂きました個人情報には活動報告以外の目的には一切利用いたしません。

■ ゆうちょ銀行

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金
ゆうちょ銀行からのお振込み → 記号：10200 番号：7758691
他金融機関からのお振込み → 店番：028 普通口座：0775869

■ 三井住友銀行センター南支店

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金
店番：952 普通口座：0241230

■ 三菱東京UFJ銀行港北ニュータウン支店

特定非営利活動法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金
店番：303 普通口座：0740809

NPO 法人ミタイ・ミタクニヤイ子ども基金事務局

〒162-8433 東京都新宿区市ヶ谷本村町 10-5

JICA 地球ひろば メールボックス 12

TEL: 03-6227-3772 (国際協力サロン内)

090-7186-1065 (国際協力サロン受付)

090-4096-2964 (*ミタイ基金事務局：出張中等の場合は留守番電話になります。)

URL: <http://mitai-mitakunai.com/> E-mail: mitai.jk@gmail.com



